



環境の取り組みを重要な社会的責任の一つとして位置づけ、組合員や地域社会のみなさんと共に、持続可能な循環型社会の実現をめざします。生協の事業活動を通じて「地球温暖化防止」「循環型社会の実現」「社会との調和」の取り組みを行い、豊かなくらしと地球環境保全の実現をめざします。



■ 温室効果ガス削減計画

2030年までに2013年対比50%の温室効果ガスを削減することを目標に温室効果ガス削減計画を設定して取り組みを進めています。施設の省エネは、新規出店、改装時を中心に、またフロン対策に合わせて機器の入替えや導入を行っています。また、省エネだけでなく、再生可能エネルギーの開発研究などを進め、エネルギー削減に向けての取り組みを進めています。

	実績		成り行き予測	対策効果			計画
CO ₂ 排出量	13年度	21年度	30年度	省エネ	創エネ	再エネ活用	30年度
店舗CO ₂ 排出量	6,697t	6,232t	6,745t				
宅配CO ₂ 排出量	1,169t	1,168t	763t				
物流CO ₂ 排出量	266t	545t	2,199t				
本部CO ₂ 排出量	191t	200t	179t				
福祉CO ₂ 排出量	1,168t	1,332t	1,414t				
合計CO ₂ 排出量	9,491t	9,477t	11,300t	▲246t	▲3,878t	▲2,431t	4,745t
(2013年度比)	-	99.9%	119.1%				50.0%

■ 太陽光発電システムの設置拡大

固定価格買取制度(FIT:Feed-inTariff)を活用し、自然エネルギー発電の普及を進めています。2021年度には要冷物流センターに自家消費型の太陽光発電設備(750kW)を導入し、発電規模は16ヶ所で3,024.5kWとなりました。



生協グループの発電設備(16ヶ所 3,024.5kW) ※2022年4月現在

・丸岡物流センター(坂井市)	450kW	・ハーツ志比口(福井市)	49.5kW
・本部センター(福井市)	30kW	・ハーツさばえ(鯖江市)	49.5kW
・福井センター(福井市)	250kW	・ハーツたけふ(越前市)	49.5kW
・丹南センター(鯖江市)	49.5kW	・ハーツつるが(敦賀市)	49.5kW
・敦賀センター(敦賀市)	49.5kW	・ハーツわかさ(小浜市)	49.5kW
・ハーツはるえ(坂井市)	49.5kW	・第2生鮮加工センター(福井市)	49.5kW
・ハーツ羽水(福井市)	49.5kW	・要冷物流センター(福井市)	750kW
・ハーツ学園(福井市)	49.5kW	・その他(福井市)	1,000kW

※要冷物流センターは自家消費型、その他はFIT。

■ ハーツの省エネ対策

ハーツではデマンドシステムやBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)を導入し、省エネと省コストの実現を図りました。運用改善では、季節ごとの空調・ショーケースのこまめな設定変更や照明カット、ショーケースや室外機の清掃やナイトカバーの徹底による夜間電力の低減などを進めました。



リーチインショーケース
(扉付きで、冷気漏れをふせぐ)



セラミックタイル
光の反射により店内を明るく見せることができます。



デュアルラインショーケース



ベース照明LED
ハーツ全店でベース照明のLED化を実現しました。

デマンドシステム
(三方五湖を除く9店)
デマンドによる電気使用の「見える化」。職員の意識を高めています。



BEMS(ハーツはるえ)
店舗のショーケースを自動管理するエネルギー管理システムです。